

調査結果の概要

I 調査概要

1 調査目的

加西市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、子育てをされている家庭の現状とニーズを把握するために「現在の利用状況」及び「今後の利用希望」等について、国の基本指針に基づき、『加西市子育て支援に関するアンケート』を実施しました。

2 調査の種類

- (1) 就学前児童の保育等に関する現状及び保護者ニーズ調査
- (2) 小学生の放課後等に関する現状及び保護者ニーズ調査

3 抽出方法と抽出世帯数

住民基本台帳から無作為抽出（世帯重複なし）

- | | |
|-----------|----------|
| (1) 就学前児童 | 1, 200世帯 |
| (2) 小学生 | 800世帯 |
| 合計 | 2, 000世帯 |

4 調査時期

- | | |
|--------|--------|
| 11月5日 | 発送 |
| 11月22日 | 回答期限 |
| 12月16日 | 最終回答期限 |

5 調査票回収状況

- | | |
|-----------|-----------------|
| (1) 就学前児童 | 819世帯（回収率68.3%） |
| (2) 小学生 | 574世帯（回収率71.8%） |
| 合計 | 1, 393世帯 |

6 回収状況の内訳

(1) 就学前児童

校区	送付数	回収数	全体割合	回収率
北条中学校区	480	309	37.7	64.4%
北条小校区	418	145	17.7	64.1%
北条東小校区		123	15	
富田小校区	62	41	5	66.1%
善防中学校区	170	99	12.1	58.2%
賀茂小校区	67	40	4.9	59.7%
下里小校区	103	59	7.2	57.3%
加西中学校区	275	200	24.5	72.7%
九会小校区	165	125	15.3	75.8%
富合小校区	110	75	9.2	68.2%
泉中学校区	275	192	23.5	69.8%
日吉小校区	65	44	5.4	67.7%
宇仁小校区	47	35	4.3	74.5%
西在田小校区	52	35	4.3	67.3%
泉小校区	111	78	9.5	70.3%
わからない	—	15	1.8	—
無回答	—	4	0.5	—
全体	1,200	819	100	68.3%

(2) 小学生

校区	送付数	回収数	全体割合	回収率
北条中学校区	270	193	33.7	71.5%
北条小校区	133	94	16.4	70.7%
北条東小校区	89	67	11.7	75.3%
富田小校区	48	32	5.6	66.7%
善防中学校区	150	102	17.7	68.0%
賀茂小校区	63	45	7.8	71.4%
下里小校区	87	57	9.9	65.5%
加西中学校区	190	151	26.3	79.5%
九会小校区	129	101	17.6	78.3%
富合小校区	61	50	8.7	82.0%
泉中学校区	190	126	22	66.3%
日吉小校区	54	36	6.3	66.7%
宇仁小校区	24	19	3.3	79.2%
西在田小校区	42	27	4.7	64.3%
泉小校区	70	44	7.7	62.9%
無回答	—	2	0.3	—
全体	800	574	100	71.8%

Ⅱ 調査結果の概要

1 就学前児童

(1) 子どもと家族の状況

- ・子ども2人の世帯が44%で最も多い。
- ・一人っ子の世帯は32%、3人以上の子のいる世帯は24%である。
- ・母親が回答しているケースが94%を占める。
- ・配偶者のいない世帯は7%である。

(2) 保護者の就労状況

- ・父親の96%がフルタイムで働く。
- ・就労する父親の94%が週5～6日で働き、91%が1日8時間以上働く。
- ・就労する父親の75%が7～8時台に家を出て、65%が19時以降に帰宅する。
- ・就労していない母親は38%。
- ・母親の23%がフルタイムで働き、32%がパートタイム等で働く。
- ・就労する母親の77%が週5～6日で働き、1日8時間が30%で一番多い。
- ・就労する母親の71%が7～8時台に家を出て、79%が19時までには帰宅する。
- ・5年前（平成20年12月）の調査と比べると、フルタイムで働く父親は94%→96%、母親も27%→29%と微増、パートタイム等の母親も29%→32%と微増する。
- ・現在、パートタイム等で働く母親のうち、フルタイムへの転換希望は、35%あり、このままパート就労を続けたいは52%。
- ・現在、就労していない母親のうち、49%が働きたいという希望を持ち、希望する就労形態は「パート・アルバイト等」、就労時期は「一番下の子どもが大きくなったとき」の回答が最も多い。
- ・「一番下の子どもが大きくなったとき」については、「子どもが2～3歳になるとき」が47%で最も多く、以下「6～7歳」、「4～5歳」と続く。
- ・今後も育児・家事・介護に専念したい（就労の予定はない）は11%。

(3) 平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況

- ・平日の定期的な教育・保育サービスの利用は56%を占め、保育所の利用が、最も多い。

- ・現在の1日あたりの利用時間は7～9時間が53%で最も多い。希望する利用時間では、7～10時間（10%～15%）に分散する。
- ・利用開始時間は、8～9時が最も多く、希望も同じ傾向にある。
- ・終了時間は16～18時台で最も多く、希望も同じ傾向にある。
- ・平日の定期的な教育・保育サービスを利用していない理由では、「父母のいずれかがみている」が83%。
- ・定期的に利用したい教育・保育サービスは「保育所」が51%、「認定こども園または幼稚園」が50%、以下「幼稚園」30%、「幼稚園の預かり保育」28%と続く。

（4）土曜・休日・長期期間中の定期的な教育・保育サービスの利用希望

- ・土曜日の定期的な利用希望は32%、日曜日・祝日については16%、利用したい時間帯はどちらも8～9時台からと18時までが最も多い。
- ・毎週ではなく、たまに利用したい理由は「仕事があるため」が64%で最も多く、次いで「息抜きのため」が35%となっている。
- ・幼稚園利用者の59%が夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の預かり保育を希望。利用したい時間帯は9時から始まり、16から17時台で終わる時間が最も多い。
- ・「毎週ではなく、たまに利用したい理由」は「仕事があるため」が69%で最も多い。

（5）子どもが病気のときの対応（平日の定期的な教育・保育サービス利用者のみ）

- ・この1年間に子どもが病気やケガで定期的な教育・保育サービスが利用できなかったことがある人は62%。
- ・そのとき最も多い対処方法は「母親が休んだ」で75%、次いで「親族等にみてもらった」54%、「父親が休んだ」14%となっている。
- ・父母のいずれかが休んだ日数、あるいは親族等にみてもらった日数は2日から3日が最も多い。
- ・父母のいずれかが仕事を休んだと回答した人で、「病児・病後時保育を利用したい」という人は39%、「利用したいと思わない」は57%。
- ・今回の調査で病後時保育の利用経験者は2名のみ。
- ・病気やケガで病児・病後時保育施設に子どもを預ける場合、71%が「小児科に併設した施設」が望ましいと回答。

(6) 一時預かり等の利用

- 幼稚園や保育所への通園や病気以外に保護者の用事(冠婚葬祭や家族の病気、仕事など)のために一時預かり等のサービスを利用した人は4%、利用したことがないは92%。
- 今後「利用したい」は31%、「利用する必要はない」は65%。

(7) 地域における子育て支援等

- 地域における子育て支援施設を利用すると答えた人は30%、年齢別では0～2歳児の利用が多い。

	全 体	子育て学習センター、 ねひめキッズ等を利用している	その他の子育て 広場等を利用	利用していない	無回答
全 体	819 100.0	178 21.7	67 8.2	583 71.2	29 3.5
0歳	227 100.0	75 33.0	24 10.6	135 59.5	6 2.6
1歳	136 100.0	51 37.5	15 11.0	78 57.4	2 1.5
2歳	122 100.0	33 27.0	22 18.0	76 62.3	2 1.6
3歳	105 100.0	11 10.5	5 4.8	86 81.9	6 5.7
4歳	96 100.0	3 3.1	1 1.0	86 89.6	7 7.3
5歳	114 100.0	2 1.8	- -	109 95.6	3 2.6

- 地域における子育て支援施設の利用頻度は週1回又は月2回と回答した人が多い。

(8) 小学校就学後の放課後の過ごし方

- 小学校就学後の放課後時間のすごさせたい場所は、小学3年生までは「自宅」が56%と最も多く、次いで「習い事」、「学童保育」が33%で並ぶ。
- 小学4～6年生でも、「自宅」が66%、次いで「習い事」が51%、「学童保育」が18%と続く。
- 学童保育は週5日で、18時以降の利用を希望する人が多い。
- 平日に学童保育を利用したい人のうち、土曜日に関く学童保育を「利用したい」と答えた人は、小学3年生までが37%、小学4年から6年生まででは18%。
- 夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の学童保育の利用希望は小学3年生ま

でが43%、小学6年までが21%。

(9) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度

- 「育児休業を取得した（取得中）」と回答した父親は2%、母親は28%。育児休業を取得していない」と回答した父親は90%、母親は16%。
- 母親の取得期間は7～12ヶ月が50%で最も多い。
- 育児休業を取得しない理由は、父親は「配偶者、祖母にみてもらえた」51%、「仕事が忙しかった」33%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」29%。一方、母親の育児休業を取得しない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」44%が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が14%。
- 実際の復帰と希望が異なる母親の93%が「希望より早く復帰」、その理由は「人事異動や業務の節目にあわせるため」が42%で最も多い。
- 実際の復帰と希望が異なる母親のうち、「希望する保育所に入るため、早く復帰した」のは9%、「希望する保育所に入れないため、遅く復帰した」のは30%。

(10) 子育て支援全般

- 子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人は「配偶者等」85%、次いで「祖父母等の親類」が80%。
- 子育てで負担に思うことは、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きい」が、50%で最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」が42%。
- 5年前（平成20年12月）の調査比較では、「安全な遊び場や児童館など子どもの居場所が身近にない」、「保育サービスや施設が利用しにくい」、「不安や負担は感じない」の回答が増え、「子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じる」、「地域医療体制への不安を感じる」、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きい」の回答は減少。

子育ての不安や負担 回答割合（単位：％）

項目	H20	H25	増減
子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じるから	59.3	31.6	-27.7
地域医療体制への不安を感じるから	29.7	18.3	-11.4
子育て（教育）にかかる経済的負担が大きいから	59.3	50.4	-8.9
子どもの教育やいじめなどが心配だから	38.8	31.9	-6.9
自分のための時間がもてないから	21.1	14.2	-6.9
仕事と子育ての両立が難しいから	45.0	41.5	-3.5
子どもの健康や発達に不安を感じるから	17.7	13.6	-4.1
安全な通園・通学ができる歩道や防犯施設等の整備が進んでいないから	27.8	26.0	-1.8
身近に自然や伝統文化とふれあう機会がないから	4.8	2.9	-1.9
相談相手や手助けしてくれる人がいないから	4.3	5.0	0.7
保育サービスや施設が利用しにくいから	10.0	12.0	2.0
安全な遊び場や児童館など、子どもの居場所が身近にないから	27.8	31.0	3.2
不安や負担は感じない	3.8	9.2	5.4
その他	3.3	3.7	0.4
不明	0.5	1.8	1.3

- 子育てで不便に思うことは「子どもの遊び場が少ない」が38%、「経済的な理由（公共料金が高いなど）」が28%、「小児医療体制が心配」が24%。
- 5年前の調査比較では、「子どもの遊び場が少ない」、「買物等が不便」の回答が増え、「経済的な理由（公共料金が高いなど）」、「小児医療体制が心配」、「教育環境が心配」の回答は減少。

子育てがしにくいと思う理由 回答割合（単位：％）

項目	H20	H25	増減
経済的な理由（公共料金が高いなど）	45.5	28.4	-17.1
小児医療体制が心配	36.8	23.9	-12.9
教育環境が心配	21.5	10.0	-11.5
子育て支援サービスが不足	16.3	8.3	-8.0
市内に働く場所がない（職場が遠い）	12.0	4.9	-7.1
交通面で不便だから	17.7	11.1	-6.6
職場環境の子育てへの理解不足	7.7	5.0	-2.7
地域の人々の交流が少ない	6.2	4.3	-1.9
外出先の子育て家庭への配慮が不足（トイレなど）	5.7	5.7	0.0
道路整備などの安全面	8.1	9.4	1.3
子どもの防犯対策	10.5	12.7	2.2
買物等が不便	7.7	10.1	2.4
子どもの遊び場が少ない	32.5	38.0	5.5
その他	3.3	2.2	-1.1
不明	14.8	25.3	10.5

- ・子育てに関する満足度では「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると31%、一方、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせると21%、最も多い答えは「どちらともいえない」が48%。

2 小学生

(1) 子どもと家族の状況

- ・子ども2人の世帯が51%で最も多い。
- ・一人っ子の世帯は16%、3人以上の子のいる世帯は32%である。
- ・母親が回答しているケースが88%を占める。
- ・配偶者のいない世帯は10%である。

(2) 保護者の就労状況

- ・父親の92%がフルタイムで働く。
- ・就労する父親の92%が週5～6日で働き、93%が1日8時間以上働く。
- ・就労する父親の78%が7～8時台に家を出て、62%が19時以降に帰宅する。
- ・就労していない母親は14%。
- ・母親の33%がフルタイムで働き、50%がパートタイム等で働く。
- ・就労する母親の75%が週5～6日で働き、1日8時間が25%で一番多い。
- ・就労する母親の73%が8～9時台に家を出て、76%が19時までには帰宅する。
- ・5年前（平成20年12月）の調査と比べると、フルタイムで働く父親は94%→92%、母親も34%→33%とわずかに減少、パートタイム等の母親は43%→50%に増加。
- ・現在、パートタイム等で働く母親のうち、フルタイムへの転換希望は37%、このままパート就労を続けたいは58%。
- ・現在、就労していない母親のうち、32%が働きたいという希望を持ち、希望する就労形態は「パート・アルバイト等」、就労時期は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の回答が最も多い。
- ・今後も育児・家事・介護に専念したい（就労の予定はない）は25%。

(3) 放課後の過ごし方

- ・学童保育及び放課後子ども教室の利用は13%。「利用しない」は85%。
- ・利用しない理由は、「帰宅時間に親や家族がいる」が65%で最も多く、次い

- で、「小学校高学年（4～6年生）が対象になっていないから」が14%。
- 希望する学童保育の終了時間は18時までが53%、19時までが21%。
 - 現在の利用の有無にかかわらず、土曜日に関く学童保育をする「利用する」と答えた人は、小学3年生までが7%、小学4年から6年生までが5%。
 - 現在の利用の有無にかかわらず、日曜祝日に関く学童保育をする「利用する」と答えた人は、小学3年生までが3%、小学4年から6年生までが2%。
 - 現在の利用の有無にかかわらず、夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の学童保育の利用希望は小学3年生までが28%、小学4年から6年生までが24%。

(4) 子育て支援全般

- 子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人は「配偶者等」78%、「祖父母等の親類」が66%。
- 子育てで負担に思うことは、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きい」が、48%で最も多く、次いで「子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じる」38%、「子どもの教育やいじめなどが心配だから」が36%。
- 5年前との比較では、「仕事と子育ての両立が難しいから」、「不安や負担は感じない」の回答が増え、「子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じる」、「地域医療体制への不安を感じる」、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きい」の回答は減少。

子育ての不安や負担 回答割合（単位：%）

項目	H20	H25	増減
子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じるから	64.5	38.2	-26.3
地域医療体制への不安を感じるから	33.5	10.8	-22.7
子育て（教育）にかかる経済的負担が大きいから	63.5	47.9	-15.6
自分のための時間がもてないから	14.8	6.8	-8.0
安全な通園・通学ができる歩道や防犯施設等の整備が進んでいないから	29.6	23.0	-6.6
安全な遊び場や児童館など、子どもの居場所が身近にないから	36.0	30.0	-6.0
子どもの教育やいじめなどが心配だから	40.9	35.0	-5.9
相談相手や手助けしてくれる人がいないから	3.4	1.9	-1.5
子どもの健康や発達に不安を感じるから	14.8	13.4	-1.4
身近に自然や伝統文化とふれあう機会がないから	3.4	3.8	0.4
保育サービスや施設が利用しにくいから	4.4	5.1	0.7
仕事と子育ての両立が難しいから	27.6	31.2	3.6
不安や負担は感じない	3.0	9.9	6.9
その他	3.4	3.8	0.4
不明	1.0	2.1	1.1

- 子育てで不便に思うことは「子どもの遊び場が少ない」が39%、「経済的な理由（公共料金が高いなど）」が29%、「子どもの防犯対策」が24%と高い。
- 5年前との比較では、「道路整備などの安全面」、「子どもの防犯対策」の回答が増え、「経済的な理由（公共料金が高いなど）」、「小児医療体制が心配」、「教育環境が心配」の回答は減少。

子育てがしにくいと思う理由 回答割合（単位：％）

項目	H20	H25	増減
経済的な理由（公共料金が高いなど）	53.7	29.1	-24.6
小児医療体制が心配	28.6	15.9	-12.7
教育環境が心配	30.5	19.5	-11.0
交通面で不便だから	31.0	20.9	-10.1
子育て支援サービスが不足	16.3	11.3	-5.0
市内に働く場所がない（職場が遠い）	10.3	6.3	-4.0
買物等が不便	7.4	5.1	-2.3
地域の人々の交流が少ない	7.4	5.7	-1.7
職場環境の子育てへの理解不足	6.4	4.9	-1.5
外出先の子育て家庭への配慮が不足（トイレなど）	2.5	1.0	-1.5
子どもの遊び場が少ない	37.9	39.0	1.1
子どもの防犯対策	20.2	24.2	4.0
道路整備などの安全面	11.8	17.6	5.8
その他	3.9	2.4	-1.5
不明	4.9	16.2	11.3

- 子育てに関する満足度では「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると26%、一方、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせると22%、最も多い答えは「どちらともいえない」が51%。